

15. 小児急性白血病に伴う脳炎・脳症について (第1報)

山本正生*¹, 金子清*¹, 太田耕造*¹,
小倉雄一*¹, 神野直昭*¹, 福永慶隆*¹,
植田 穰*¹

中枢神経白血病の予防的治療が、白血病治療計画に組み入れられて数年経ってみると、予防的治療を施行したにもかかわらず、なお長期生存例の15%前後に中枢神経の再燃をみ、さらに予防的治療に伴う、種々の副作用の報告が散見されるのが現状である。中枢神経白血病に対する予防的治療は、既存の治療法にもとづく治療成績を正確に集計、解析するとともに、よりすぐれた予防的治療法の模索という反省の時期にきつつあるように思われる。

著者らは、1981年に中枢神経白血病に対する予防的治療に伴う副作用として、表1に示すような項目を、内外の文献をもとに整理した。現在、これら項目にさらに眼科学的面、耳科学的面、歯科学的面、精神学的面からのいくつかの徴候を加えねばと考えている。また、症状による分類とは別に、予防的治療後の副作用発症時期による分類が必要と思われる。

今回、著者らは、中枢神経白血病に対する予防的治療の副作用の中で、最も重症と考えられる脳炎・脳症が、本邦においてどの程度存在するかを知る目的で、アンケート調査を行った。対象施設は、日本小児血液研究会に複数の会員を登録している68施設である。第1次アンケート調査では、小児急性白血病に伴う脳炎・脳症の患者の有無について回答を求めた。第2次調査は「有」と回答があった施設について行った。以下、アンケート調査で現在まで集計した結果を簡単に示す。

第1次アンケート調査の対象施設 68施設
第1次アンケート調査の回答 48施設
有 25施設 54症例
無 18施設
第2次アンケート調査(25施設)の回答
15施設 25症例
25症例の性差 男児 20例, 女児 5例
25症例の白血病分類 全例 ALL
男児 T-cell 4例, Common 4例,
NonT NonB 2例, 不明 10例
女児 Common 2例, Null 1例, 不明 1例

表1 中枢神経系白血病の予防的治療の副作用

-
- [A] 全身的影響
 - I. 感染防禦機構への抑制
 - [B] 局所的影響
 - I. 神経障害
 - (1) 頭蓋照射によるもの
 - a. postirradiation (sommolence apathy) syndrome
 - b. 中枢神経感染症
 - c. 中枢神経の変性
 - (2) 薬剤の髄注によるもの
 - a. 髄膜刺激症状あるいは化学的蜘蛛膜炎
 - b. 神経麻痺
 - c. 脳症 (progressive multifocal leukoencephalopathy, disseminated necrotizing encephalopathy)
 - II. 内分泌障害
 - (1) 下垂体機能不全
 - (2) 甲状腺機能不全
-

* 1 日本医科大学小児科教室

(小児科Mook No.20小児の白血病より)

25症例の年齢 7カ月～16歳 (Mean 4歳11
カ月)
初回完全寛解導入より脳炎・脳症発症までの
期間 (24例) 1カ月～8年8カ月
(Mean 28.7カ月)

骨髄状態

脳炎・脳症発症以前の骨髄再発 8例
脳炎・脳症発症以前の骨髄再発 8例
骨髄再発なし 8例

記載が明確な24例中

☆ 脳炎・脳症発症以前に中枢神経白血病の再
発を認めたもの 20例
この20例について
中枢神経白血病発症より脳炎・脳症発症ま
での期間 7日～10カ月 (Mean 3.0カ月)
(再三の再発は脳炎・脳症に近い時期)
20例すべてが中枢神経白血病の治療後に脳炎・
脳症を併発している。

記入者による脳炎・脳症発症の原因

1. 頭蓋照射+MTX髄注 9例
2. 頭蓋照射+MTX髄注+大量MTX静注
5例
3. MTX 髄注+白血病浸潤 4例
4. 頭蓋照射+MTX 髄注+化膿性髄膜炎
2例

20例中、中枢神経白血病に対する予防的治療
未実施 4例

4例中3例は骨髄完全寛解導入直後の中枢
神経白血病の再発

20例中 18例は死亡

生存2例はいずれも脳炎・脳症発症 1年
以内

脳炎・脳症発症より死亡までの期間

15日～2年7カ月 (Mean 8.5カ月)

☆ 脳炎・脳症発症以前に中枢神経白血病の再
発を認めなかったもの 4例

中枢神経白血病の予防の有無 有 3例
無 1例

予防実施3例について

MTX 髄注より脳炎・脳症発症までの期間

1カ月, 1カ月, 7カ月

原因 (疑) 麻疹, 麻疹+パポバ, 不明

生存期間 1年4カ月, 1年1カ月,

9年6カ月

骨髄 いずれも初回完全寛解持続中

未予防実施1例について

VPL 寛解導入後2週にて発症

生存期間 10カ月

原因 不明

今後、患者の発生「有」と回答をいただき、な
お未だ第2次アンケート調査が未到着の施設の協
力を得て、最終的集計を行い、さらに、2,3の症
例を精細に検討し報告するとともに、急性白血病
の中枢神経白血病に対する予防的治療に伴う脳炎
脳症の発症原因、その病態について考察を加える
予定である。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



中枢神経白血病の予防的治療が、白血病治療計画に組み入れられて数年経ってみると、予防的治療を施行したにもかかわらず、なお長期生存例の 15%前後に中枢神経の再発をみ、さらに予防的治療に伴う、種々の副作用の報告が散見されるのが現状である。中枢神経白血病に対する予防的治療は、既存の治療法にもとづく治療成績を正確に集計、解析するとともに、よりすぐれた予防的治療法の模索という反省の時期にきつつあるように思われる。